

## 要望書

令和1年8月6日

三田市長  
森 哲男 様

三田市身体障害者福祉協議会 難聴者部会  
会長 [REDACTED]  
要約筆記ボランティア「三田サマリー」  
代表 [REDACTED]

### 中途失聴・難聴者に関わる事業への要望について

平素より、三田市では意思疎通支援事業をはじめとする中途失聴・難聴者の社会参加促進に関わる事業に積極的に取り組んでいただき、感謝申し上げます。特に今年度は、新規事業として「はじめての手話&要約筆記体験」を実施していただき、誠にありがとうございます。

中途失聴・難聴者の福祉のさらなる向上を願いまして、以下のように要望いたします。ご検討いただきますようよろしくお願い申し上げます。

### 要望事項

#### 1. 要約筆記派遣事業

##### (1) 個人派遣の拡充

- ・当事者だけでなく健聴者からの依頼も含め、要約筆記を必要とする市民からの依頼を可能としてください。
- ・申請できる派遣対象範囲を拡大してください。

##### (2) 団体派遣の拡充

- ・聴覚障害者の所属する団体の組織の維持にかかわるものだけでなく、聴覚障害者が所属する団体が主催する交流や学習、啓発のための行事や、他の障害者団体や三田市人権を考える会等の啓発行事等への公費派遣を認めてください。

##### (3) 円滑な事業実施のための「意思疎通支援事業運営委員会」の設置

- ・意思疎通支援事業が円滑に実施されるために、聴覚障害当事者団体、登録手話通訳

者、登録要約筆記者、そして連絡調整業務を担う設置手話通訳者等からなる運営委員会の設置を要望いたします。

## 2. 小中学校の難聴児童・生徒への学習支援

- ・市内の小中学校に在籍する難聴児童・生徒のニーズに応じた学習支援体制の充実をはかり、他の児童・生徒と同じように学べる環境を整えてください。

具体的には、以下のような配慮をお願いいたします。

- (1) 難聴児童・生徒のニーズに応じたノートテイカーの配置
- (2) 難聴児童・生徒の聞こえの状況に応じた補聴援助システムの活用
- (3) 難聴児童・生徒に対する周囲の児童・生徒の理解促進
- (4) 難聴に対する理解促進のための先生方の研修の実施

以上